

1 学校教育目標

○けんこうな子…心身ともに健康な子を育てる ○助け合う子…情操豊かで人を大切にする子を育てる ○よく考える子…よく考え進んで学ぶ子を育てる

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○在校生にとって … 学校生活に希望をもち「わくわくする学校」 ○卒業生にとって … 卒業したことに「誇りをもてる学校」 ○保護者にとって … 子どもを通わせて「安心感がもてる学校」 ○地域にとって … 地域の宝だと「大切に思う学校」 ○教職員にとって … 心を一つにして「チームワークを発揮できる学校」
○児童・生徒像	○1秒の言葉 … 「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」等、TPO に応じて自分の思いを相手に伝えることができる子 ○自己肯定感 … 「自分で考え、自分で判断し、自分で行動できる」をめざして自他共に認めあえる子 ○3つの無言 … 「放送時静止」「無言ゾーン」「無言清掃」を守って、安全安心な生活習慣を培える子
○教師像	○3つの『わ』 … 互いに切磋琢磨し、質の高い（「わくわくする授業」「わかる授業」「わらいのある授業」）を実践できる教師 ○チームワーク … 発想の転換ができ、それぞれの役割を発揮しながら本来のチームワークを結集できる教師 ○働き方改革 … 自らのルーティンワークを確立し、懸命にではなく賢明に働き仕事と家庭・健康を両立できる教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

- 児童 … 素直で明るく連帯感をもって学校生活を楽しんでいる。学習面では基礎学力の定着が図られている。発達障害的集団不適応児童対応が急務。
- 教師 … 足立スタンダードを元に充実した授業を実践している。初期対応と情報共有を重視、組織としてチームワークを大切に学校力向上に従事している。
- 保護者 … 本校教育活動に対して理解があり協力的な家庭が多い。PTA 会長を筆頭に本部役員は献身的な協力姿勢である。
- 地域 … 7町会ある。どの町会も本校に対して愛着と協力的態度に満ちている。各種行事や催し物を復活し、子どもの育成を大切にしている。

【前年度の成果と課題】

○重点的な取り組み事項－1(学力向上プラン)

- ・4月区学力調査通過率は、国語 88.8%→87.1%，算数 92.9%→87.7%と下がってはいるが、区内では上位をキープし、目標値を大きくクリアしている。
- ・学力向上アクションプランに示した6項目中、◎:十分達成が3項目、○:おおむね達成が3項目となり、学力向上の取組として十分な成果を出した。

○重点的な取り組み事項－2(豊かな心の育成)

- ・「関原小 心はひと～つ！」のキャッチフレーズを柱に団結感が醸成され、異学年や特別支援学級との交流でさらに一体感・連帯感が育まれている。
- ・「一秒の言葉」の励行を学校経営方針の第一に掲げ、朝礼を筆頭に事あるごとに啓発した結果、TPOに応じた挨拶とともに言葉で伝えられる児童が増えている。
- ・アンケートからも「早寝 早起き 朝ごはん」が今一歩である。また、いじめや不登校解消に向けて、組織的かつ家庭との連携強化を図っていくことを継続する。

○重点的な取り組み事項－3(体力向上)

- ・都体力テスト結果から、ソフトボール投げ、シャトルラン、反復横跳びは良好。握力、長座体前屈(柔軟性)、50m走(走力)に課題があり対策を講じる必要がある。
- ・サーキットトレーニングから筋力トレーニングを取り入れた成果として、児童の体力運動機能の向上が全体的に図られている。

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R：令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成	○	○	○	○	○
3	体力向上	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－１		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標			達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●
基礎学力の定着率向上と授業の質の向上を図る。			年度当初 両教科 84%以上 年度末 両教科 84%以上		自己評価の際に記入				
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (＝数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 新規	授業力向上 「授業改善」	全教員	通年 授業中	【全教員】 ○足立スタンダード虎の 巻勉強会及び活用 ○教員自らの過去問取組 ○S P表分析と考察 ○学年伝達会（年３回） ○教科指導員専門員指導 ○大仙派遣教員による勉強 会（２ヶ月に１回）	・単元テスト 正答率 ・S P表分析 ・学年伝達会 ・授業観察	授業観察により 評価B以上の教 員が８割以上	自己評価の際に記入		

2 継続	授業力向上 「ICT機器 活用」	全教員	通年 授業中	【全教員】 ○ICT機器を活用した、より 質の高い授業の実践 ○新規採用者及び転入者 へのレクチャー	・週案簿記録 ・巡視確認 ・ミニ研修会 (月1回)	1日2回以上の ICT機器を活用 した授業の実施	自己評価の際に記入
3 継続	朝学習 (パワーアップ タイム)	各学年 ・国語 ・算数	週3回 始業前 15分	【全教員】 ○学習内容の復習、定着 ・AIドリル、自作教材	・漢字テスト ・東京ベーシッ クドリル	年間を通じ、全 学年漢字テスト 正答率を80%以 上に保つ	
4 継続	放課後補習	各学年補 習必要児 童 ・国語 ・算数	通年 放課後	【全教員】 ※副担制度活用 ○基礎的基本的な内容の定 着、現学習単元の補充 ・既習内容プリント、AIドリル	・日々の授業 ・単元テスト ・到達度確認 テスト	2月の確認テスト で国語・算数共 に通過率を83% 以上に保つ	
5 継続	校長室検定	2～6年 ・九九 5年生 ・23区 6年生 ・都道府 県	通年の 朝学習 中休み 昼休み 放課後	【指導者体制】 管理職・学力向上委員会 【取組のねらい・目的】 基礎的基本的事項の定着 【使用教材】 既習内容のプリント 合格証・免許状	・校長室検定 ・教室での表彰	九九は各学級 95%以上 漢字・23区・都道 府県は各学級 80%以上の合格者をめざ す	
6 継続	夏季補習 教室	各学年 10名程度 の対象者 ・国語 ・算数	夏季休 業中 10日間	【指導者体制】 全教員 【取組のねらい・目的】 基礎的基本的事項の定着 【使用教材】 既習内容のプリント・AIドリル 等	到達度確認テ スト	2月の確認テスト で国語・算数共 に通過率を3%以 上アップさせる	

重点的な取組事項－ 2		豊かな心の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
児童の豊かな人間性を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が、4項目とも「おおむね達成」以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
「1 秒の言葉」の励行	・意識調査の「挨拶」の項目で90%以上の児童が肯定的回答 ・保護者アンケートの「挨拶」の項目で80%以上が肯定的回答	・「はい。ありがとう。ごめんなさい。」を基本とした挨拶等，自分の思いを相手に伝えることを学校経営目標の柱とする ・教職員や学年児童輪番による毎朝の挨拶運動の実施	自己評価の際に記入		
「自分で考え，自分で判断し，自分で行動する」を目指した自己肯定感の高揚	・意識調査の「自己肯定感」の項目で80%以上の児童が肯定的回答	・全教育活動に賞賛による啓発指導の取り入れ。（表彰朝礼） ・「3つの無言」を遵守し，安全安心な生活を送る習慣の継続 ・行事への主体的な関わる機会の設定と事前事後指導の実践			
集団帰属意識の向上（異学年活動・特別支援学級との交流活動）	・全学年における交流活動の実践100%達成 ・意識調査の「協力的態度」の項目で80%以上の児童が肯定的回答	・お誕生日給食会 ・表彰朝会 ・異学年交流活動 ・特支学級と通常学級の交流 ・幼保小連携交流 ・運動会，学芸会			
いじめ防止 不登校対応	・意識調査の「学校は楽しい」の項目で85%以上の児童が肯定的回答 ・年度末でのいじめ解消率100% ・不登校児を減少させる	・毎月のいじめ対策委員会 ・年3回の生活指導全体会で情報共有と共通対策行動 ・関係機関との連携			

重点的な取組事項－ 3		体力向上			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
自らの健康と体力の向上を目指す児童を育成する。		目標実現に向けた取組の実施結果が、4項目とも「おおむね達成」以上	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
体力及び運動能力の向上	・都の体力調査で全項目前年度数値を上回る	・サーキット及び筋力トレーニングの継続 ・水泳授業の充実, 夏季継続 ・持久走, 縄跳び旬間の継続 ・柔軟性を高める運動の継続 ・握力向上の遊びの奨励	自己評価の際に記入		
体育の授業の質の向上	・意識調査の「体育が好き」の項目で90%以上の児童が肯定的回答 ・都の体力調査の数値向上(前年比)	・研修等を通じた体育科授業における指導方法の改善と, 運動に親しめる環境や用具の工夫 ・教師へ体育実技研修の継続			
保健及び食育指導の充実	・意識調査の「食事」「睡眠」等に関する項目で90%以上の児童が肯定的回答	・生活リズムカードの継続 ・保健及び食育指導の継続 ・養護教諭や栄養士と連携した授業の継続 ・保護者会や各種便りを活用した保護者への啓発			
校内研修[授業改善] 区小研を模範とした研究の実践	・区調査の「学校の授業は楽しい」の項目に肯定的に回答した児童80%以上 ・校内研究の充実	・「足立スタンダード」を基本とした授業を基本として職層や経験値に応じた授業力向上を図る ・校内研究は, 大仙派遣教員2名による講義, 演習, 実践方式			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

自己評価の際に記入します。
経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）